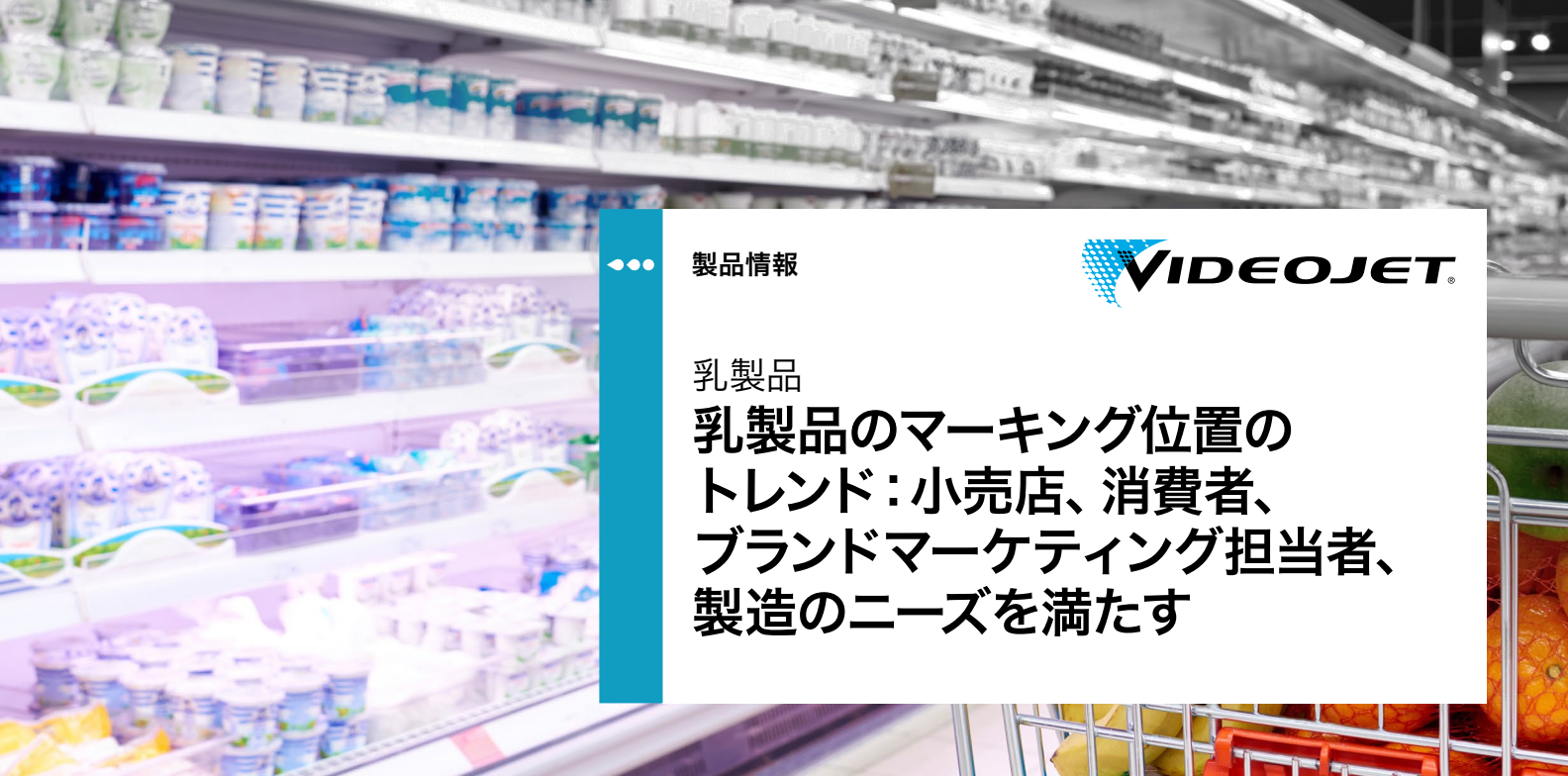




製品情報



乳製品

乳製品のマーキング位置の トレンド：小売店、消費者、 ブランドマーケティング担当者、 製造のニーズを満たす



業界の世界的な成長率が¹ 桁台前半になることが予想される中、新たな風味や包装に対する消費者の要求を満たすことができる乳製品メーカーは業界の平均を上回り、有利な立場に立てるでしょう。乳製品は家庭に欠かせない食品ですが、多くの消費者は乳製品を、必要性、値段、量で判断して購入する傾向にあります。

技術的課題：

乳製品メーカーの多くは、印字しやすいという理由で、包装のフタにマーキングを配置します。しかし、フタは簡単に紛失したり捨てられたりするため、そこにあったマーキングも、その目的（一目でわかる賞味期限や製造情報）も失われてしまうという欠点があります。小売業者や消費者のためにこの問題を解決しようと、メーカーは製品の包装本体にマーキングを移そうとしています。このような傾向は、包装のグラフィックスやブランドロゴに印字がかからないようにしたいブランドオーナーに歓迎されています。しかしこの移動は、限られた印字領域に印字するように設計されていないプリンタにとって、特に高速の場合、難しい課題となります。

ビデオジェットの長所：

性質上、乳製品の消費期限は短く腐りやすいため、できるだけ新鮮なうちに消費されるのが理想的です。したがって、容易に視認できる、明確で正確かつ一貫した印字が必要です。このようなマーキングを包装本体に直接印字するには、フタなど印字しやすい場所への印字に比べて、プリンタに耐久性と柔軟性が求められます。産業用インクジェットプリンタ（小文字用）の世界的リーダーであるビデオジェットは、多様な包装素材の限られたスペースにも、実質的にあらゆる方向に高速印字のできるソリューションを取りそろえています。Videojet 1860 は 45 度に傾斜したプリントヘッド設計により、プリントヘッドをできるだけ包装の近くに配置できるように取り付けオプションが豊富で、特に角度のある上部への印字に対応します。また、特許取得済みの CleanFlow™（クリーンフロー）プリントヘッドの陽圧エアフローは、プリントヘッドをインクの蓄積やゴミから守ります。これは、製品の底面に対して上向きに印字する場合に特に有用です。低温の湿潤環境であっても、並外れた印字品質達成して、最小限のメンテナンスで稼働するビデオジェットのプリンタは、常に 99.9 % の稼働率を実現しており、乳製品にきれいな印字を提供するために最適です。

¹ 2016 Dairy Market Trends in Packaging and Processing Operations (包装および加工作業における乳製品市場の動向 2016), The Association for Packaging and Processing Technologies, 2017 年 1 月。

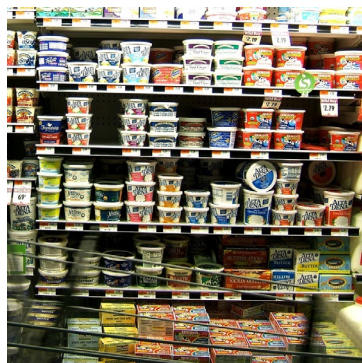
印字位置にかかわるリスクとその重要性



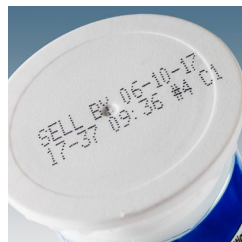
フタへの印字

乳製品上の日付やロット情報の印字位置には特に規定がないため、多くのメーカーは、フタの側面や上部に印字します。この印字位置でフタを紛失すると、消費者や小売業者が消費期限やロット情報を確認できなくなることが、このやり方にまつわるリスクです。この情報がないと、在庫を効率的に循環、管理することができません。またリコールの際の大きな障害になります。さらに、消費者がこの情報を確認できなければ、おそらく製品を購入することもなくなり、結果的に製品の売り上げが減少して、ブランドの評判が低下するおそれがあります。

2015年に米国で発生した大規模な乳製品のリコールを見れば、フタに印字したロット情報が紛失することのリスクがわかります。ある大手メーカーがリステリア汚染を理由として800万ガロンのアイスクリームをリコールしました。メーカーはWebサイトで消費者に対して、特定のロット番号を使って製品が対象の製造所で製造されたかどうかを識別するように要請しました。しかしその情報は容器のフタの内側に印字されていたため、小売業者も消費者もそれを確認するのが容易ではなく、一部の消費者はフタと共にその情報を既に廃棄してしまっていました。



最近では、小売業者がメーカーに対して、包装本体にマーキングを印字するように求めるようになりました。この変更は、製品の鮮度や、腐敗しやすい商品の追跡に対する可視性の改善を求める消費者、小売業者、メーカーにとって望ましいことです。混み合った店舗の商品棚で製品を目立たせたいブランドオーナーもこの変更を歓迎しています。





製造とマーケティングのニーズの間の適度なバランス

多くのブランドオーナーが包装本体の決まった場所に印字を移動することを歓迎するでしょう。印字を移動することで、マーケット担当者は容器のフタやホイルへの印字に邪魔されことなく、包装の外観を最適なものにできます。さらに、処理能力、印字品質、プリンタのメンテナンスなど、印字を移動することで運用に与える影響を検討することも重要です。また、印字の鮮明さやわかりやすさも犠牲にはできません。さらに難しい印字位置への移動が全体の処理能力に悪影響を与えてはいけません。そして最後に、プリンタが新しい要件に対応できる必要があります。

以下の点をご確認ください。

- 印字装置の印字方向を変更できるか (例えば容器の底に上向きに印字できるか)
- 印字装置に包装の限られた面積に印字できる柔軟性があるか
- 生産ラインに対する印字装置の設置方向を変更できるか
- 印字装置から出力されるフォントサイズが変更可能で、印字品質も維持できるか
- 生産ライン速度
- 製造環境の条件
- 印字品質に影響を与える可能性のある包装の特徴 (印刷、形状、素材)



メッセージ伝達を妨げる印字の例

結論

乳製品メーカーは、今までフタに印字していた情報を、製品の容器本体に印字するようになってきました。この変化は、消費者の信頼と売上を増やすことで小売業者をバックアップして、リコール発生時にメーカーをサポートするために推し進められています。製品包装のブランドメッセージも邪魔されることはないため、マーケティングの担当もこの変更を歓迎するでしょう。しかし言うまでもなく、他の製品パッケージの変更と同様に、製造を含むすべての関係者のニーズを検討した上で導入を決定することが重要です。



最終収益

ビデオジェットは、小売業者、消費者、マーケティング担当者のニーズと製造のニーズのバランスを取ることの重要性を理解しています。異なるニーズに対応するため、当社では乳製品産業に向けて、幅広い産業用インクジェットプリンタ（小文字用）のソリューションを用意しています。当社のソリューションの特長は以下の通りです：

- プラスチック、ガラスびん、金属、厚紙、軟包材など、多様な素材への高解像度の印字
- 気温や湿度が変化する環境での印字に最適な固着性の高い特殊インク
- 常にプリントヘッドをきれいに保ち、最適な印字性能を引き出す特許取得済みの CleanFlow™（クリーンフロー）プリントヘッド技術
- 狭いスペースにも格段の品質で 2 行または 3 行のマーキングを印字できる、非常に柔軟性が高い高速のプリンタ

製品に関する詳しい情報や現場の生産ラインの調査については、ビデオジェットの担当者にご相談ください。

TEL: 0120-984-602

Email: info.japan@videojet.com

URL: www.videojet.co.jp

ビデオジェット社

〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10

テレコムセンタービル 西棟 6F

© 2017 Videojet Japan - All rights reserved.

ビデオジェット社は常に製品の品質向上をめざしており、お客様への予告なく設計や仕様を変更する場合がありますので、ご使用に際しては最新の情報をご確認ください。

